

Table with columns for 事務事業名, 政策体系, 根拠法令, 所属, 実施計画登録事業, 事業期間区分, 予算科目, 期間, 事務事業区分, 事務事業の概要, 全体計画. Includes details for '中小企業振興事業' and financial projections.

Table for '1 現状把握の部(DO)' containing '1) 事務事業の目的と指標'. It details activity indicators (e.g., subsidy applications) and target indicators (e.g., number of business establishments).

Table for '2) 総事業費・指標等の推移' showing a multi-year trend from 2022 to 2027. It includes columns for '年度', '単位', and various cost and activity indicators.

事務事業ID	0376	事務事業名	中小企業振興事業
--------	------	-------	----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

- ① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
 本事業開始前は、景気の低迷により個人消費が伸び悩み、個店では消費者の様々なニーズに応えるべく努力はしていたものの、各店独自の大きな事業には手をつけられない状況であった。そのため、市内中小企業団体や商工業界の活性化を図るために中小企業振興事業を昭和61年度に新設した。
- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
 ・平成24年度まで補助上限額が設定されていなかったことから、より多くの団体に制度を活用してもらうため、平成25年度から1団体あたり50万円以内とした。
 ・平成30年度には、当市を訪れる外国人観光客の増加を図るため、補助対象事業に外国人観光客受入促進事業を追加した。
 ・令和元年度には、同一事業に対する補助金の交付は、3年を限度とすることとした。
 ・令和3年度には、新型コロナウイルス感染症による中小企業者への影響を鑑み、補助対象事業に販売促進事業(コロナ枠)を追加した(3年度限り・補助率3/4)。
 ・令和4年度には、東日本大震災被災企業を含む団体に対する補助率の優遇措置を廃止し、コロナ禍の影響で売上が減少している中小企業者を含む団体に対する補助率の優遇措置(補助率3/4以内)を設けた。
- ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
 平成30年度から補助対象事業に追加した外国人観光客受入促進事業について、外国人観光客向けのパンフレットの作成などを行うことができる等、補助事業者からは好評だった。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 理由・内容 中小企業者が共同で実施する各種事業に対し補助することにより、活気あふれる商業地の形成につながるから整合が図られている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 理由・内容 一者単独では困難な事業も、共同で取り組むことにより実現性や相乗効果が高まり、一層の中小企業の振興が図られることから、補助金を交付し、中小企業者間の連携を促進することは、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である 理由・内容 市内中小企業者で組織している団体、グループなどが行う中小企業の振興を図るための事業を対象にしており、対象・意図は適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 理由・内容 おおむね目標水準を維持し、適正に事業が行われている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある 理由・内容 事業の全額を自己資金で賄うことになれば、自己資金に余裕がない中小企業者は、新たな事業に取り組むことが困難になる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由・内容 事業費を削減すると、中小企業団体が新たな事業に取り組むことが困難になる。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 理由・内容 担当人数は最低限であり、人件費削減の余地はない。 また、申請前事業説明会の廃止など人件費削減に努めている。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である 理由・内容 広報、ホームページ、報道機関などを通じて広く募集をした上、事業計画書を提出した中小企業団体を対象にしており、公平・公正である。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性 1 現状維持 ※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。(現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)	(2) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状どおり継続して事業を実施する。
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
成果	向上																			
	維持	●	×																	
	低下	×	×																	

4 課長等意見

(1) 今後の方向性 1 現状維持	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容 コロナ禍の長期化や物価高騰等により来店客の減少等の影響を受ける中、中小企業者組織が振興策に取り組む事業として効果があった。依然として、物価高騰等の先行きも不透明であり、厳しい経営環境が続いていることから、中小企業者の振興を図るための効果的な取組として、大船渡商工会議所と連携し、推進していく必要がある。
----------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------